

本書における用語の定義

橋面舗装	橋面上の舗装のこと。 アスファルト混合物を用いた場合は橋面アスファルト舗装。 セメントコンクリートを用いた場合は橋面コンクリート舗装。
舗装	土工部上の舗装のこと。 アスファルト混合物を用いた場合はアスファルト舗装。 セメントコンクリートを用いた場合はコンクリート舗装。
ラテックス改質コンクリート	ラテックスモディファイドコンクリート。 LMC : Latex Modified Concrete 本書の中では橋面コンクリート舗装での使用材料を示す。 日本ではポリマーコンクリート, ポリマーセメントコンクリートなどともいう。
付着強度 グルーピング	既設床版と橋面コンクリート舗装との一体性を示す数値。 舗装面に排水のための間隔 3cm 程度の溝を切り, すべり抵抗を高める工法。 コンクリートが固まらないうちに行う場合をフレッシュグルーピングと呼び, 針金状や円盤上の金属を用いて行うタイングルーピングが代表的である。その他コンクリート硬化後にカッターを使用して行う場合もある。
マイクロサーフェッシング	分解性に優れた特殊な改質乳剤と厳選された骨材をスラリー状に混合し, 3~6mm 程度の薄層で敷き均す常温舗装工法。舗装の予防的維持工法として世界的に広く使用されている。わが国においては特に長大橋やコンクリート舗装の予防的維持工法として 10 万 m ² /年程度施工された時期もあったが, 現在はほぼ行われていない。
バーステッチ工法	コンクリート舗装のクラック補修工法の一つで, クラック部分に鉄筋(バー)が入るよう箱型のカッターを入れ, バー挿入後樹脂モルタルなどで充填し補強する工法。
ダイヤモンドグラインディング	隙間なく取り付けたダイヤモンドブレード(円形カッター刃)を使い, 舗装表面を薄層で除去する工法で, 走行性の向上や表面形状の修正に用いる工法である。
1day コンクリート	早期交通開放型コンクリート舗装。1DAY PAVE ともいう。
硬質タークレー	九年橋の建設当初(大正 11 年)の時代のコールタール舗装。
膠石(グラノリシック)	セメント, 砕石, 水を混合したもの。砂抜きコンクリート。
超速硬コンクリート	3 時間で高い強度を発現するコンクリート。
超速硬セメント	超速硬コンクリートに使用されるセメント。
速硬コンクリート	超速硬コンクリートより硬化速度が遅く, 普通コンクリートより短時間で高いコンクリート強度を発現するコンクリート。
メタクリル樹脂	メタクリル酸メチル(メチルメタクリレート=MMA)のポリマー, またはアクリル酸エステル(アクリレート)とのコポリマーの総称。
ポリエステルコンクリート	結合材にポリエステル樹脂を用いたコンクリート。 ポリエステル樹脂コンクリート(Polyester Resin Concrete)ともいう。
H P C	高性能コンクリート(High Performance Concrete)。 米国の橋梁床版, コンクリート舗装に主に使われる材料。 一般的に日本で使われるハイパフォーマンスコンクリートとは異なる高耐久性を特長としている。
高性能コンクリート	高性能コンクリート(High Performance Concrete)。

	日本では一般的に自己充填性を有するコンクリートを意味する 場合が多い。
シーラント	橋面コンクリート舗装表面に塗布・浸透・被覆する材料。 表面改質やひび割れ充填などにより耐久性向上となる。
ポゾラン	コンクリート用のシリカ質混合材。 それ自体に水硬性はないが、コンクリート中の成分と徐々に化 合して不溶性の化合物をつくる。
ポゾラン混合セメント	ASTM に規定されるセメントの一つ。 TYPE IP (Portland Pozzolan Cement) 。 フライアッシュを含むポゾラン活性を示す混和材を 15 から 40%含む混合セメント。
残存型枠	埋め殺し型枠ともいう。
クーロン coulombs :	浸透性を示す単位。
リフレクションクラック	コンクリート版の目地やひび割れが影響して表層に生じるクラ ック。
ストレートアスファルト	アスファルトの種類の一つ。 石油アスファルトを蒸留することにより得られる。
改質アスファルト	ストレートアスファルトにポリマー等を添加して改質したも の。